

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PROCESSING SYSTEM FOR INVENTORY DATA

Patent Number: JP4238570
Publication date: 1992-08-26
Inventor(s): YOSHINO AKIYO; others: 02
Applicant(s): FUJITSU LTD
Requested Patent: ☐ JP4238570
Application Number: JP19910006063 19910123
Priority Number(s):
IPC Classification: G06F15/24; G06F15/74; G07G1/12
EC Classification:
Equivalents: JP2927974B2

Abstract

PURPOSE: To obtain the inventory data in an inventory site without reading out the previous inventory data from a master file of a host computer at the time of inventory, although it is necessary to receive a commodity master file held by the host computer to a processor side and to store it in an external storage device in order to grasp the inventory quantity of commodities by comparing it with data at the time of the previous inventory at the time of inventory.

CONSTITUTION: This system is constituted so that a control part 1 generates prescribed data from data of a label part 42 read from a bar-code reader 2 and data subjected to key input from an operating part 3 and stores it in a memory part 55, transfers the data concerned to a processor through a transmission part 18, and the data of the label part 42 is generated by executing bar-code printing to the data concerned by a printing part 4.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(11)特許出願公開番号

特開平4-238570

(43)公開日 平成4年(1992)8月26日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/24		7218-5L		
15/74	3 3 0 A	7530-5L		
G 0 7 G 1/12	3 2 1 Q	8921-3E		

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平3-6063

(22)出願日 平成3年(1991)1月23日

(71)出題人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72)発明者 吉野 明世

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(72)発明者 大和 美穂

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(72)発明者 矢野 秀明

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(74)代理人 弁理士 井桁 貞一

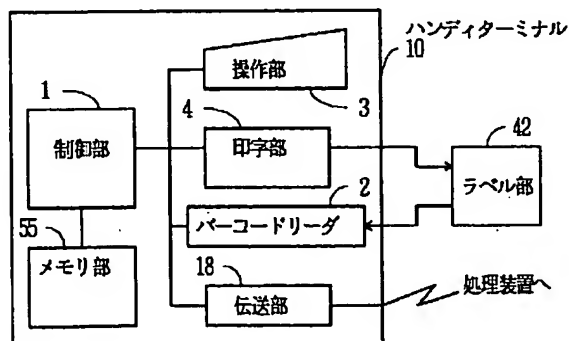
(54) 【発明の名称】 棚卸しデータの処理方式

(57) 【要約】

【目的】 棚卸しデータの処理方式に関し、棚卸しにおいて商品の在庫数量を前回の棚卸し時のデータと比較して把握するためには、ホスト計算機が保持する商品マスタファイルを処理装置側へ受信して外部記憶装置に格納しておく必要があった。棚卸しにおいて前回の在庫データをホスト計算機のマスタファイルから読み出すことなく棚卸し現場で該データを取得することを目的とする。

【構成】 制御部1は、バーコードリーダ2から読み取られるラベル部42のデータと、操作部3から打鍵入力されるデータから所定のデータを作成してメモリ部55へ格納し、該データを伝送部18を経由して処理装置へ転送し、印字部4で該データをバーコード印字を行うことによりラベル部42のデータを生成するように構成する。

本発明の原理ブロック図



【特許請求の範囲】

【請求項1】 制御部(1)と、バーコードリーダ(2)と、操作部(3)と、印字部(4)と、メモリ部(55)と、伝送部(18)とから構成されるハンディターミナル(10)と、バーコードで印字されたデータを保持するラベル部(42)とを有し、制御部(1)は、バーコードリーダ(2)から読み取られるラベル部(42)のデータと、操作部(3)から打鍵入力されるデータから所定のデータを作成してメモリ部(55)へ格納し、該データを伝送部(18)を経由して処理装置へ転送し、印字部(4)で該データをバーコード印字を行うことによりラベル部(42)のデータを生成することを特徴とする棚卸しデータの処理方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は棚卸しデータの処理方式に関する。商品の棚卸し時に商品の在庫数量が確認されるが、売れ筋商品を把握し適切な在庫管理を行うためには前回の棚卸しの時の商品別在庫数のデータを必要とし、ホスト計算機の商品マスタファイルを現場の処理装置へ回線経由で読出すことにより該データを取得していた。

【0002】 棚卸し時に簡易な方法で前回の在庫数量を把握可能にする必要がある。

【0003】

【従来の技術】 図5に従来のシステム構成図を、図6に従来の棚卸し処理手順図を示す。棚卸し処理において、商品毎の前回の棚卸し時点での在庫データ等を参照する必要があるために、棚卸し業務の開始に先立ち処理ステップ91で、現場の処理装置15(例えばパーソナルコンピュータ又はオフィスコンピュータ)を使用して、ホスト計算機16側に確保されている商品マスタファイルを、通信回線を経由して読出して、外部記憶装置14へ商品マスタファイル12として格納する。該商品ファイル12には棚卸し対象となる商品の商品コード、商品名及び前回の棚卸しのときに計上された商品の在庫数量の各データが格納されている。

【0004】 棚卸しデータの収集は、商品の収納されている倉庫に手軽に持ち運びが可能なハンディターミナル11を操作員が持参して、処理ステップ92で商品に貼ってあるラベルから商品コードをバーコードリーダ22で読み取ることにより行われる。

【0005】 処理ステップ93で、操作員は該商品コードに対応した商品の現在の数量(在庫数)を操作部31から打鍵入力する。処理ステップ94で制御部13は、商品別在庫数のデータをメモリ部19に格納する。表示部32はデータの入力時に入力データを表示する。所定の商品に関する在庫数量の入力が終了すると処理ステップ95で、該メモリ部19に格納された商品別在庫数のデータを処理装置15へ転送するためにハンディターミナル11を処理装置15

に接続する。

【0006】 処理ステップ96で操作部13からデータ転送の指令が入力されると、制御部13はメモリ部19に格納されている商品別在庫データを処理装置15へ転送する。処理ステップ97で処理装置15はハンディターミナル11からの転送データを入力し、前回の在庫数と今回の棚卸しの在庫数のデータを持つ商品マスタファイル12を作成する。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 棚卸しにおいて商品の在庫数量の変動を前回の棚卸し時のデータと比較して把握するためには、ホスト計算機が保持する商品マスタファイルに記録されている前回の棚卸し時のデータをいったん処理装置側の外部記憶装置へ受信しておき、棚卸し現場においてデータの変動を把握していた。

【0008】 棚卸しにおいて前回の在庫データをホスト計算機のマスタファイルから読み出すことなく簡易な方式で取得する必要がある。

【0009】

【課題を解決するための手段】 図1は本発明の原理ブロック図である。制御部1と、バーコードリーダ2と、操作部3と、印字部4と、メモリ部55と、伝送部18とから構成されるハンディターミナル10と、バーコードで印字されたデータを保持するラベル部42とを有し、制御部1は、バーコードリーダ2から読み取られるラベル部42のデータと、操作部3から打鍵入力されるデータから所定のデータを作成してメモリ部55へ格納し、該データを伝送部18を経由して処理装置へ転送し、印字部4で該データをバーコード印字を行うことによりラベル部42のデータを生成するように構成する。

【0010】

【作用】 棚卸し対象の商品に対応して作成されたラベル部42には、前回の棚卸し時の在庫数のデータがバーコードで記録されており、該ラベル部42のデータをバーコードリーダ2で読み取ることにより前回の在庫数が棚卸しの現場で取得出来る。また今回の在庫数は操作部3から入力して商品に対応したラベル部42の数量を更新したラベル部42を印字部4より印刷して生成することにより、商品の在庫数の変動を迅速に現場で把握することが出来る。

【0011】

【実施例】 棚卸し対象の商品に対応して作成されたラベル部42は、所定の棚に貼ってあり、図2のラベル部の説明図で示すように該ラベル部42は、バーコード印字された商品データ(商品名、商品コード、在庫数量を表すバーコード部(a1~a3))とそれぞれに対応して操作員が識別可能なガイダンス用の文字・数値部(g1~g3)を保持している。

【0012】 図3に実施例のシステム構成図を示し、図4に実施例の棚卸し処理手順図を示す。商品倉庫にハン

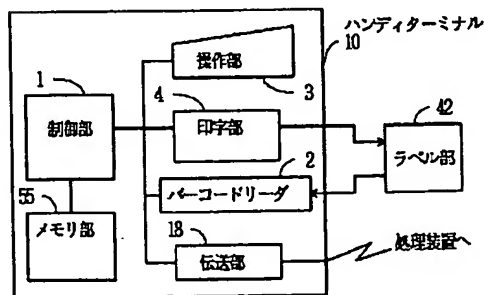
3

ディタースミナル10を持参して、処理ステップ81でラベル部42が保持する商品データをバーコードリーダ22で読み取る。処理ステップ82で、制御部1は読み取った商品名、商品コード及び数量（前回の在庫数）を表示部35に表示する。操作部3は処理ステップ83で、該商品の現在の数量（在庫数）を操作部3から打鍵入力する。処理ステップ84で制御部13は、商品に対応する前回の在庫数と今回の在庫数のデータをメモリ部55に格納する。表示部35はデータの入力時に入力データを表示する。操作部3からラベル印字の指令があると処理ステップ85で印字部4は、ラベル部42の数量（b3）を今回の在庫数に更新したラベル部42を出力（印刷）する。操作部3は該ラベルを在庫数チェックを終了した商品に貼る。所定の商品に関する商品データの読み取りと、該商品の在庫数の入力終了すると処理ステップ86で、メモリ部55に格納された商品別在庫データを処理装置20へ転送するためにハンディターミナル11を処理装置20に接続する。処理装置20との接続はRS-232Cケーブルによる処理装置15との接続方式か、又はモデム内蔵型電話機経由での回線接続のいずれかの方法で行う。

【0013】処理ステップ87で操作部3からデータ転送の指令が入力されると、制御部1はメモリ部55に格納されている商品別在庫データを伝送部18から処理装置20へ転送する。処理ステップ88で処理装置20はハンディターミナル20からの転送データを入力し、前回の在庫数と今回の棚卸しの在庫数のデータを持つ商品データファイル5を外部記憶装置50に作成する。処理ステップ89でシス

【図1】

本発明の原理ブロック図



4

テムコンソール25からの指令で商品データファイル5をホスト計算機40へ送信する。

【0014】

【発明の効果】棚卸しに於いて、商品マスタファイル12をホスト計算機16からハンディターミナル11へ通信回線経由で受信しなくても、棚卸し現場のラベル部42のデータをバーコードリーダ2で読取ることにより商品の在庫データを把握することが出来るために、現場での迅速な在庫管理が実現出来る。

10 【図面の簡単な説明】

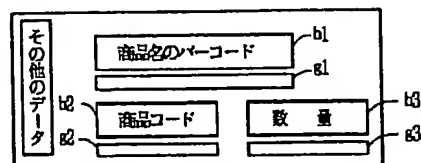
- 【図1】 本発明の原理ブロック図
- 【図2】 ラベル部の説明図
- 【図3】 実施例のシステム構成図
- 【図4】 実施例の棚卸し処理手順図
- 【図5】 従来のシステム構成図
- 【図6】 従来の棚卸し処理手順図

【符号の説明】

- 1、13は制御部、
- 2、22はバーコードリーダ、
- 3、31は操作部、32、35は表示部、
- 4は印字部42、43はラベル部、
- 5は商品データファイル、b1～b3はバーコード部、g1～g3はガイダンス用の文字・数値部を示し、81～89、91～97は処理ステップを表す。
- 10、11はハンディターミナル、12は商品マスタファイル、
- 14、50は外部記憶装置、15、20は処理装置、
- 16、40はホスト計算機、17、18は伝送部、
- 19、55はメモリ部、

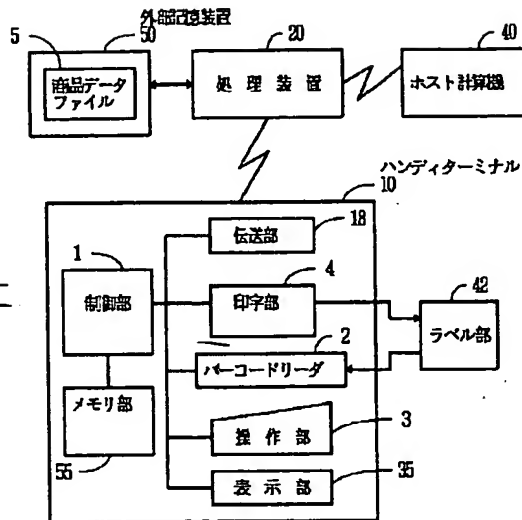
【図2】

ラベル部の説明図



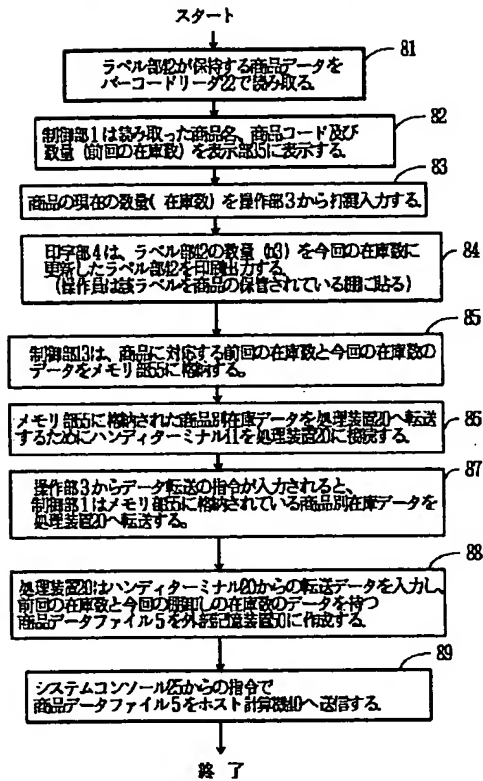
【図3】

実施例のシステム構成図



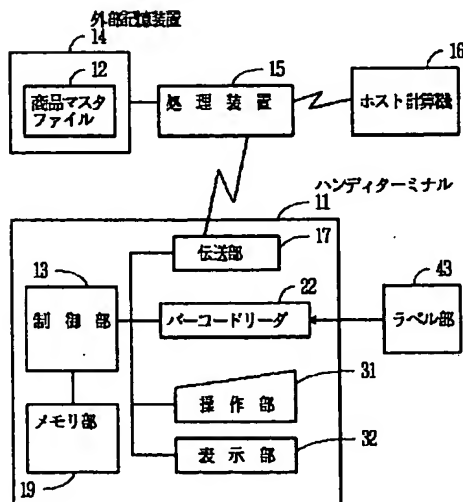
【図4】

実施例の棚卸し処理手順図



【図5】

従来のシステム構成図



【図6】

従来の通知し処理手順図

